



樹 姉 ば よ う

No.156
2017.10

慈 悲 喜 捨

十五夜は、月が太陽の明るさに隠れて見えない「新月と呼ばれる状態にあるときから、満月になるまで、およそ十五日ほどかかることから、「十五夜」と言われています。空が澄んで、美しく晴れ渡るのが九月中旬から十月上旬なので、この時期に出てくる満月を、中秋の名月とも言います。

昔から、作物が月の満ち欠けと一緒に成長していくことから、月は縁起がいいものとされてきました。そのため、十五夜は秋の収穫を喜び、神様に感謝するための祭りとして今に至っています。十五夜にススキを飾るのは、ススキが稲穂に似ていることや、月の神様を招く目印となるからだと言われています。そして、十五夜にススキを飾ると、一年間病気をしないと云われています。

また、十五夜にうさぎが登場するのは、次のような逸話があります。狐と猿、うさぎは、お腹を空かせて死にそうになっているおじいさんから、食べ物がいとせがまれました。狐と猿は食べ物を捕って持ってきますが、うさぎは、どうやっても何も持ってくるこ

うと、うさぎはおじいさんのために自らの命を捧げて火の中に飛び込みました。おじいさんはとても悲しみ、うさぎの清らかな魂を誰もが見ることができるようにと祈って月の中に写したという事です。また、十五夜とうさぎの関係は仏教の説話が元になっているとも言われ、うさぎが餅をついているという話も、米の収穫に感謝するということが元になっているようです。このように、うさぎと十五夜には様々なつながりがあります。

十五夜に月見団子を食べますが、他にも、里芋、収穫して得た果物、野菜の三つを食べると良いと言われています。月見団子は、十五夜の時は十五個食べると良いとされ、健康と幸せを得られると言われています。年長の方は、子どもの頃に、各家庭のお団子を篠竹などで突いて回って、いただいた経験があるのではないのでしょうか。十五夜のお月見は、秋の収穫を祝い、神様への感謝を込めたものなので、そのような悪戯も大目に見てもらえたようです。

四季折々の行事に触れることは、子どもたちにとって大切なことです。風情のある十五夜を、家族で過ごすのはいかがでしょうか。

教頭 金安伸一

信念の人に 導かれて

明照学園理事長

野口 秀樹



西暦二〇〇一年に樹徳

中学校を開校しました。

一期生が二年生になった

ら、必ず立志式を行う。

開校当初からこれは私の

中で決めていた大事なこ

とでありました。その第

一回立志式の講師を、当

時イエローハットの創業

者で相談役の、鍵山秀三

郎氏にお願いしました。

二〇〇三年二月七日、演

題は「小さな実践の一步

から」。

このひと月前に、イエ

ローハットの担当の方に

来校して頂き、私の友人

達が組織していた、大

間々の郷土を美しくする

会の方々が協力してくれ

て、生徒達とトイレ掃除

私の友人が鍵山さんの信奉者。そのご縁で、この時が二回目の出会いでありました。その後も沢山の事を学ばせていただき、高等学校にお越し戴いて講演を頂きました。

この度は、鍵山秀三郎さんのことを書きたいと思います。

かつての私は怠け者でありましたし、効率を優先するような若者でありました。できれば楽がしたい。恥ずかしい限りです。

ところが鍵山さんは「大きな努力で小さな成果を」。初めて聞いたときは聞き違い、それとも言い間違いではないかと思ったのであります。

また「誰にもできることを、誰にもできないくらい懸命に行く」これが凡事徹底なのでしようが、誰でもができるならば、私がやらなくてもいいじゃないか、私は人のやらないことをやればいいのだ、などと。

立志式での話の中に「三つの幸せ」の教えがありました。これは「してもら

う幸せ」、「できる幸せ」、「してあげる幸せ」というものでした。

これは幸せを感じる段階を示したもので「してあげる幸せ」が最高の幸せ。

赤ちゃんの時は、してもらう事がとても嬉しかった。お乳をいただいたり、おむつを替えていただいたり。

そのうち、自分ができるようになった喜びを知った。自転車にも乗れる。簡単な食事だって作れるようになった。お父さんにお母さんに何かをしてあげたら、皆喜んでくれた。人が喜んで姿、喜んで顔を見たときに嬉しくなってる自分がいた。

この「してあげる」幸せのできる人の周りには、非常に善良な人たちが集まってくる。その善良な人達と共に豊かな人生を送ることができるようになる。

中学生ばかりではなくて、私にも解る話でありました。初めての出会いから、お

会いするたびに、また書籍を読ませて頂くたびに、私の心の垢が落とされていく。多くの気づきが私にはありました。

鍵山さんが若い頃、信号の違反をしたことがあったそうです。

その時のことについて、こんなことを話されております。

「人間というものは、たとえどんなに小さなルールでも、一つ破るごとに『心の力』は確実に弱くなるものです。だから、人間が強く生きていくためには、この『心の力』を強くすることだと思えます。特別な能力のない私は、せめて、『心の力』を強くしたいと思えます。ですからどんな小さなルールでも決められたことはきちんと守るようにしています。」

「ルールを守ること」は『心の力』の関係には、目から鱗であります。こんな捉え方を私はしたことがなかった。以後、私はルール

を守る意義の一つとして生徒達にこのことを話します。わかりやすい教えですよ。感動しました。

目に見えないものは、目に見えるものより大事なことが多くあります。そして、その「見えないもの」を見る方法があります。

「人の心」は目には見えませんが、「心遣い」は目に見えます。「人の思い」も目に見えませんが、「思いやり」という形で見ることができます。「気」も同様に、「気配り」という形で見るができます。

企業家としても超一流、実践者としても超一流、人や物を大事にする、いや愛するの超一流。

信念の方であることは間違いないのですが、全く威圧感がない、不思議な、素敵な方です。

ありがたいご縁に改めて感謝いたしております。

合掌



伝統は革新の連続である

失敗から学ぶ

私の人生はたくさんの方から成り立っている。皆

さんも小さい頃に「失敗は成功の母」という教えを聞いたことがあると思う。私も小学生の時に、学校の先生からその教えを受けた。その時は今一つピンと来ず、単に失敗した者を慰める言葉であると考えていた。しかし年齢を重ねるにつれ、人生の分岐点「勝負どころ」が来る。そのうちの 하나가大学受験である。

私は高校時代を千葉県の公立高校で過ごした。柔道部に所属し、勉強と部活動の両立「文武両道」を目標に取り組んだ。高校三年生の夏、柔道部として最後の大会が終わり、大学受験に向けて大手の予備校に通った。高校や予備校の先生からは「運動部の生徒はそれまで部活に費やしていた時間とエネルギーを勉強のみ

に注ぐことができるから必ず志望校に合格できる！」と言われ、その通り勉強に集中して、受験までの日々を過ごした。

しかし結果は、志望校だけでなく、滑り止めの大学もすべて不合格であった。高校卒業後の進路が全く何もない状況になってしまったのだ。まさかどこにも合格できないとは思っていなかったため、かなり落胆し、他の仲間が進路を決めている中、この先どうすればよいのかわからずにいた。後期大学受験で合格できそうな大学を受験する、という選択肢もあったが、私には、大学でも「文武両道」を目標に勉強と柔道に取り組みたいという思いがあったため、一年間浪人して予備校に通わせてもらえるよう両親にお願ひし、再度第一志望校合格に向けて取り組んだ。二度目の受験に向け、私は一度目の受験の失敗の原因を考えた。一つは「基礎が身につ

ていないのに他の受験生と同じように応用の勉強をしていたこと」であった。他の受験生は高校2年生の冬や3年生の春から基礎の勉強をし、3年生の秋頃によ

うやく応用や過去問に取りかかるのに対し、私は秋から始めたにも関わらず、同じように応用の勉強と過去問に取り組んでいたのだ。

例えば英語の勉強をする際、細かい文法や構文がわからないまま、配点が高いという理由から長文を解く練習ばかりを行っていた。そのため、最後まで文意が理解できたときは高得点になるが、そうでないときは全然点数が取れず、全く偏差値が安定しなかったのだ。

もう一つの原因は「受験学力を身につけてこなかったこと」である。私の母校では、定期試験直前に教科書の内容を暗記すれば、大抵の教科で平均点以上を取ることができた。そのため、自分はある程度理解できていると勘違いしてしまっていた。実際は、教科書の題材以外の内容になると、同じ単元の問題であっても解くことができなかった。そ

の問題の問うているものを意識していなかったのである。

以上の反省を踏まえ、二度目の受験に向けて、浪人時代には基礎から学び直した。また、間違えた問題はもちろん、できた問題に対してもその答えを選んだ根拠を書き記すように習慣づけ、一つ一つの問題に対し、その問題が何を問うているかを意識しながら学習に取り組んだ。

その結果、一度目の受験時の第一志望よりも偏差値の高い大学に合格することができた。

私がこの時に学んだことは、何かに失敗してしまっ

た時、失敗を忘れて次へ進むのではなく、自身を省みて失敗の原因を明確にし、次に向けて改善・実践していくことが成功につながる、ということだ。これが、

失敗から学ぶと言うことである。私は、「失敗は成功の母」との意味を、ようやく理解できたのだ。

その後、大学でも努力を重ねた。そして、かねてからの目標である教師になることができた。教師となった今でも、私はよく失敗をする。しかし、その失敗を必ず次に生かせるように、今後も努めていきたいと思っている。

(保健体育科片岡雅樹)



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 10月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん 5, 19日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 27日(金)
- (3) 販売実習(4, 21日の各土曜日)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品

一日体験入学 本校代表生徒の発表

平成二十九年九月十六日(土)。この日、夏休みに行われた第一回の中 学生一日体験入学に続き、第二回目が実施されました。そこで、本校代 表生徒の発表についてご紹介致します。*一部抜粋

樹徳高校二年の関口悠真、同じく二年の大野蒼生です。これから私達が樹徳高校を紹介します。

まずは関口から。樹徳高校の朝は、部活動の生徒や、朝の清掃をしてくださる先生方がいて、校内には早くから活気が感じられます。始業は八時三十分で、最初の十分間は『朝の読書』です。それに続くホームルームでは、全員で『信条』を

唱和した後、『樹妙』を拝読し、心静かに黙想します。

それではまず、樹徳高校での学習についてお話しします。本校の授業は、入学した生徒たちに目標を持たせ、あるいは目標を確定させ、それを達成させることを第一に考えて行われます。進学コースでは、学力向上を目指して課外授業や特別授業が実施され、総合コースでは、二年次から、各自の目標進路に応じたコース選択によって、効果的な学習が進められます。結果として本校は、東京大学を筆頭にした難関国立

大学に多くの合格者を出していることに加え、早稲田大学・慶応大学等の名門私立大学にも、毎年複数の合格者を出しています。今年も、防衛医科大学校の医学科・東京農工大学等に合格しました。このように、樹徳は進学校としての評価を確固たるものになっているだけでなく、就職内定率も100%を継続中です。

さて、授業が終了した後には部活動です。樹徳では、今年も卓球部・陸上部・相撲部・少林寺拳法部・ダンス部が、群馬県代表として全国大会に出場しました。中でも、卓球と相撲は、常に県内トップクラスの地位を堅持し、少林寺拳法部は、全国優勝の経験があります。

文化部では、インターアクトクラブの歳末助け合い募金がお馴染みになっていますが、近年では理科部が、全国規模の研究発表会で何度も上位入賞を果たし、その研究成果には、大学や企業も注目しています。また、

将棋部では、三年生の武井柊馬君が群馬県の高校選手権を制覇し、吹奏楽部は、マーチングステージ全国大会で優秀賞を獲得しました。

部活動について、中学生の皆さんの心配事は部活と勉強の両立でしょう。本校では、進学コースでも三割前後の生徒が部活動に参加していて、文武両道で活躍している生徒が何人もいます。

では、ここからは大野が。関口君は伊勢崎市の出身で、公立高校の受験に失敗して、併願していた本校に入学しました。入学当初は、挫折感を払拭できなかったそうです。しかし、樹徳での新しい生活が進んでいくうちに、失われていた勉強への意欲が復活し、今まで経験したことがないほどの満足を感じるようになったとのこと。彼は、文武両道の模範的な実践者で、サッカー部に所属し、成績も二年K組のトップです。この事実からも、樹徳高校

が持つて
いるエネ
ルギーの
大きさを
想像して
いただけ
ると思い
ます。

私は栃木県足利市の出身です。中学時代は卓球部員でしたので、樹徳のことは卓球が強く、大学進学でも実績のある高校として耳にしていました。私は友人と一緒に、この一日体験入学に参加したのですが、少人数で編成されるSS組の内容、校舎や校内の美しさ、先生と生徒の距離の近さなどを知って、その日のうちに、単願で本校を受験することに決めました。学校

案内のパンフレットに、中学の先輩が載っていたのも、樹徳への親近感を強めたことの一つです。私が予想した通り、樹徳には充実した高校生活が待っていました。

そして今、関口君は、卒業後、理工学部の機械学科で学び、ロボット開発のエンジニアになることを目標にしています。私は、将来の仕事として教師を考えていますので、教育学部への合格を目指して、日々勉強に励んでいます。

大正三年に創立された、私たちの樹徳高校は、二〇一四年に、創立一〇〇周年を迎えました。その記念事業である女子の制服リニューアルに続いて、最新設備を備えた新校舎も完成しました。この二点によって、樹徳高校の外面的なイメージは大きく変化し、これまで以上に積み上げてきた伝統と実績の上に、いくつもの新しい事柄が加わりました。創立一〇〇周年という大きな節目を機に、樹徳高校は、皆さんの希望により広く、より確かに応えられる学校になったのです。多くの後輩たちが、私たちの樹徳に入学してくれることを心から願っています。



2K関口悠真くん 2SS大野蒼生さん

JUTOKU PRETEST

受験料無料

毎年3,000人を超す受験生

今の自分の実力が分かる

三者面談に役立つ

2017

会場 樹徳高等学校

A
日程

10月7日 土 日

B
日程

10月8日 日 日

A日程 10月7日(土) 参加中学校の所在地区

- ・前橋市
- ・高崎市
- ・伊勢崎市
- ・沼田市
- ・渋川市
- ・安中市
- ・北群馬郡
- ・吾妻郡
- ・利根郡
- ・佐波郡
- ・足利市
- ・佐野市
- ・その他県内外

B日程 10月8日(日) 参加中学校の所在地区

- ・桐生市
- ・太田市
- ・館林市
- ・みどり市
- ・邑楽郡

日程について

実施日は中学校の所在
地区別になっています
が、変更も可能です。
希望があれば、中学校
の先生に申し出てくだ
さい。



樹徳キャラクター「ビッパ」

プレテスト
参加者専用 スクールバス運行!
\\ 東武鉄道を利用される皆様へ //

※太田方面から下記時間の東武電車を利用する場合は、
新桐生～学校間、直通スクールバス(無料・申込不要)を
ご利用ください。《往路》は時間に余裕のある①の利用をお勧めします。

往路	①	新桐生駅 7:24 着	←	太田駅 7:01 発	←	東小泉駅 6:50 発
	②	新桐生駅 8:02 着	←	太田駅 7:43 発	←	東小泉駅 7:29 発
復路	①	新桐生駅 16:21 発	→	太田駅 16:40 発	→	東小泉駅 16:49 着

申込み・お問い合わせ

樹徳高等学校 入学相談室

TEL 0277-45-2258

FAX 0277-47-1671

〒376-0023 桐生市錦町1丁目1番20号



学校法人 明照学園

樹徳高等学校

一貫校

中学校

だより

◆中一・二年合同

高原学校

八月九日～十一日に富士山・山中湖方面にて、一・二年合同の高原学校が実施されました。「集団行動」について更に磨きがかかられ、有意義な時間が過ごせました。次に生徒の感想を紹介します。

一日目

○今日は樹海に行ったり、コウモリ穴を探検した。細長いツボのような花やキノコ、木などを見て観察し、ネイチャーガイドさんの説明を聞いたりして、樹海の大自然にたくさん触れることができ、貴重な経験になった。

二年一組 長尾 結希

○今日は青木ヶ原樹海とコウモリ穴に行きました。コウモリ穴はとても不思議かったです。青木ヶ原樹海とコウモリ穴、両方ともとても楽しかったです。キャンプファイヤーをやりました。みんなでクイズに答えたりして、とても楽しかったです。

二年二組 日野 朱莉



二日目
○私は富士山に登り、体や精神を鍛えることができました。また、絵葉書体験では工夫して創作活動に取り組む、友達との仲を深めることができました。明日は自分から、しっかりと行動していきたいです。
一年一組 宮田 昂穂
○富士山の山頂は見えないので、良かった。初めて雲の上の上って見ることで、うれしかった。山の方は涼しくて寒いくらいだった。葉書作りが難しかった。
一年二組 森下 夢菜



三日目
○今日は忍野八海と河口湖北原ミュージアムに行きました。忍野八海では水がすごく透明でハメートル下のところまで見えて、すごかったです。ミュージアムでは壁に絵がいっぱい描いてあって、その中に知っている絵もあっておもしろかったです。
二年一組 藤谷 拓弥
○最終日の今日は片付けがあるので頑張ろうと思いましたが、布団のたたみ方などに気を配り部屋のごみを拾って片付けがしっかりとできたと思います。三日間、本当に多くの事があってその一つ一つが私達の経験や自信になって少しづつだけ成長できた気がしました。
二年二組 關 さくら子

◆中学校視聴覚教室

九月六日シルクホールにて視聴覚教室「にいさと薪能」を鑑賞しました。演目は狂言『附子』、能『殺生石』でした。生徒達は日本の伝統芸能を堪能したようです。次に生徒の感想を紹介します。

○私は今回の視聴覚教室を鑑賞する前に思っていたことが三つあります。一つ目は、難しそうだなということ。二つ目は、ちゃんと理解できるかなということ。三つ目は、能や狂言を間近で見られることにわくわくしているということ。

視聴覚教室では、一つ一つのセリフを言う時に独特な話し方をしていたこと、歩き方がすり足だったこと

が印象に残りました。また、テレビで、鼓を叩いて音を出すことはとても難しい作業なんだと言っていました。今日、今日の鼓を叩いていた人はきちんと「ポン」と音が出ていたので、プロはすごいなと思いました。

今回の視聴覚教室を通して、日本の伝統芸能だけでなく、自分から進んでは絶対観ないであろう能、狂言を、間近で観ることができ、良い経験になりました。それから、このような教室を通して、能や、狂言に興味を持つ人が増えて、数十年後の日本においても伝統芸能であってほしいと思いました。

三年二組 米川 采伽

樹徳中高一貫教育 第2回樹徳中モギ試験 10/14(土)

受付 8:15 ~ 8:45

[I型]

国語 9:15 ~ 10:00

算数 10:15 ~ 11:00

[II型]

適性検査型 9:15 ~ 10:00

作文 10:15 ~ 11:00

※[I型][II型]選択

受験料 無料

第1期入学試験 11/11(土)

出願期間

10/30(月) ~ 11/7(火)
土日祝日を除く

お問い合わせ

TEL 0277-45-2257

幼稚園だより

「頑張ります 運動会！」

さわやかな風が吹き、過ぎやすい季節になってきました。衣替えの十月を迎え、子どもたちは一週間後に控えた運動会に向けて、かけっこやリレー、遊戯(ダンス)の練習に毎日張り切って取り組んでいます。

一〇月七日(土)に開催される今年の運動会では、年少々(すみれ組)さんがデビューします。始めは恥ずかしくて動けなかったり、リズムに乗れなくて、途中で嫌になってしまったりの練習でしたが、今では曲を覚え、嬉しそうに踊っています。小さな体を伸び伸びと動かす姿が、とても可愛らしく、微笑ましいです。かけっこでは、目標に向かって力一杯走り、意欲的に取り組む姿から、当日が楽しみです。

ほとんどの子にとって初めての運動会にワクワク・ドキドキの年少さん。お遊戯では元気いっぱいのもも組らしく、ポンポンを持って笑顔でノリノリで踊ります。「メダルがもらえるように頑張る!」と張り切って取り組んでいるかけっこ。温かいご声援を、よろしく願っています。

運動会の遊戯練習に、楽しみながら取り組んでいる年中さん。右、左の動きを揃えられるように、「ここはこうしたら?」などと、みんなでポーズを考えるなど、自主性を大切に楽しく進めています。

幼稚園生活最後の運動会となる年長さん。毎年見てきたあこがれの組み立て体操では、緊張感をもちながら、友だちと力を合わせて取り組む姿勢に、成長を実感しています。リレー・お遊戯・競技種目等、年長さんは忙しい一日になります。

が、よい思い出ができるよう、一人ひとりが楽しみながら頑張ります。

子どもたちは、運動会に向かって、跳んだり・走ったり・踊ったりと、汗をかきながら練習に頑張っています。この間にいろいろな運動遊びを通して、心も体も丈夫になり、大きく成長していきます。子どもたち一人ひとりの成長した姿を、見逃すことなく、ほめていただきたいと思います。

ご来賓はじめ、ご家族の皆様、そして関係皆様のご声援、よろしく願っています。

二期期は、運動会に始まり、親子遠足、なかよし発表会と、大きな行事が続きます。



かけっこの練習 (年少さん)

ますが、その中で培われる自主性や協調性、最後まで頑張る力などが身に付けられるように、しっかりと支援していききたいと思います。

「ちびっ子国際交流」

樹徳高校の姉妹校、オーストラリアのレッドランズ高校から、マシュー・ナスターゼさんが交換留学生として来日し、九月二〇日(水)に幼稚園を訪問しました。ライト先生の英会話授業に参加し、子どもたちと楽しい交流をしました。子どもたちにとっては、外国人のお兄さんと直接ふれあえる貴重な体験となりました。単語の発音練習では日本語をマシューさんに教えるなど、英語に取り組む



交換留学生と英会話授業

成果も実感できました。

本園では、国際交流の一貫として、毎週水曜日に英会話を、火曜日にはスマイルイングリッシュ(希望者)を実施しています。小さいときからネイティブスピーカーに触れることにより、確かな英語力の基礎が育成されるなど、国際交流や将来国際人として、活躍する子どもが育つことを、大いに期待しているところです。

園長 瀬谷 茂

『入園願書受付』

○二歳・三歳になったら、樹徳の幼児教育(保育)を!

○平成三〇年度より、認定こども園(幼稚園型)へ移行します。

○募集人員

・二歳児 一〇〇名

・満三才 一〇〇名

・三歳児 三〇〇名

・四・五歳児各一〇〇名

●十月二十六日(日)に第三回入園見学会を開催します。是非、お出かけください。

問い合わせは樹徳幼稚園ま

〇二七五二一五五七一

<http://www.jutoku.ed.jp/kinder>

10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	日	更衣		更衣
2	月	中間試験(～4日) 校内安全点検	更衣 早朝自主学習(～4日) 頭髮服装指導	校内安全点検 リズム(全)線(年少)
3	火	県校長会	中間試験(～4日)	
4	水	市街地清掃(通算90回) 後援会役員会②会計監査 マイトリー基金抛金日 授業料・第2回諸費納入日 プレテスト打合せ		英語(全)文字・数(年長)
5	木	関東地区私学教育研究集会(～6日) 3年生普通自動車運転免許取得教習開始		運動会予行練習 保育料納入日
6	金	中学生入試体験プレテスト会場作成 大掃除		運動会前日準備(早帰り)
7	土	中学生入試体験プレテストA日程		運動会(雨天順延)
8	日	中学生入試体験プレテストB日程		運動会予備日
9	月	体育の日		
10	火	体育祭予行演習		運動会代休 預かり保育
11	水	体育祭		高校体育祭見学(全園児) 英語(全)文字・数(年長)
12	木	体育祭予備日	中学体育祭(予行)	体育(全)文字・数(年中)
13	金	県私学保護者連合会理事会(明和県央) 後援会研修旅行(～14日)	中学体育祭	卒園・修了写真撮影 入園面接(子育て支援課)
14	土		中学校第2回模擬試験	
15	日	3年河合塾全統記述模試③		
16	月	朝礼	中学体育祭(予備日) ミニマナーアップ運動 第一期入試キャンペーン(～20日)	リズム(全)線(年少)
17	火	中学生保護者学校見学会(～19日)		
18	水			お茶のお稽古 英語(全)文字・数(年長)
19	木	全国私学教育研究集会(～20日)		体育(全)文字・数(年中)
20	金	合唱コンクール		親子遠足(ぐんまサファリパーク)
21	土	数学検定① 3年河合塾全統マーク模試③(～23日)	進研学力推移②(1・2年) 3年語学研修最終説明会 数学検定②	
22	日	1・2年進研模試模試②		
23	月	LHR	進研学力推移②(3年)	リズム(全)線(年少)
24	火		合唱コンクール	
25	水			群私幼指定園研究発表 英語(全)文字・数(年長)
26	木			第3回入園見学会・説明会 読み聞かせ 体育(全)文字・数(年中)
27	金			
28	土	群馬県民の日		
29	日			
30	月	朝礼	第一期入試願書受付(～11/7)	リズム(全)線(年少)
31	火	出欠統計提出 制服アフターサービス		

※ 3日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口 秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく